

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



平成25年7月8日（月）～7月14日（日）〔平成25年第28週〕の感染症発生状況

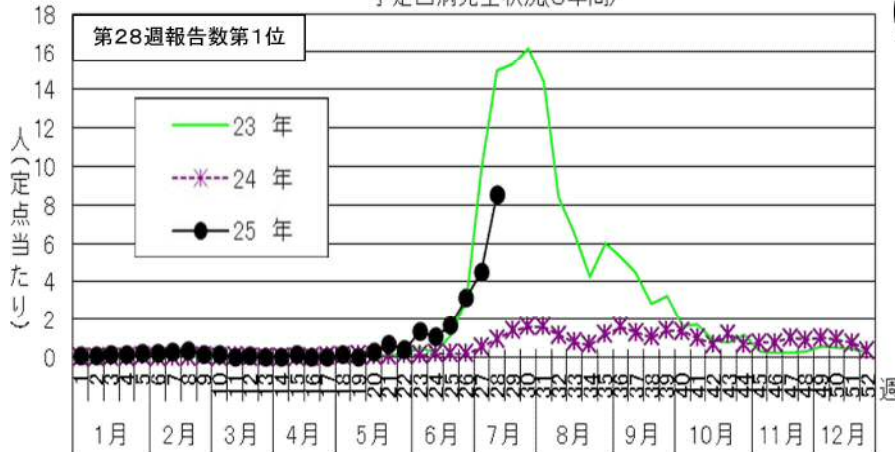
第28週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)ヘルパンギーナ でした。

手足口病は定点当たり8.55人と前週（4.52）より患者報告数は大きく増加し、流行発生警報基準値（定点当たり5人）を超え、例年より高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎は定点当たり4.36人と前週（5.97）より患者報告数は減少し、例年よりやや低いレベルで推移しています。

ヘルパンギーナは定点当たり3.79人と前週（2.12）より患者報告数は増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。

手足口病発生状況(3年間)



海外でデング熱流行中！～海外旅行には蚊の対策を～

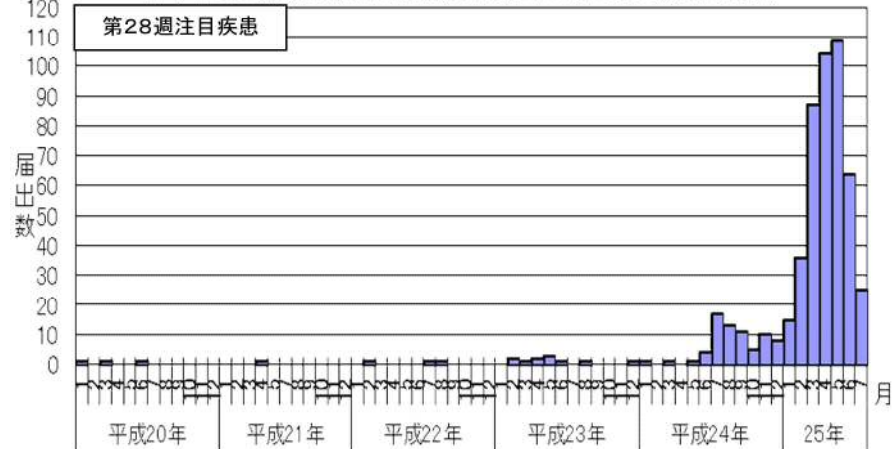
現在、東南アジアや中南米等で、デング熱が流行しています。国内でも昨年は夏にかけて患者数が増加しました。夏期の旅行シーズンに流行地へ出かける予定のある方は特に気をつけてください。



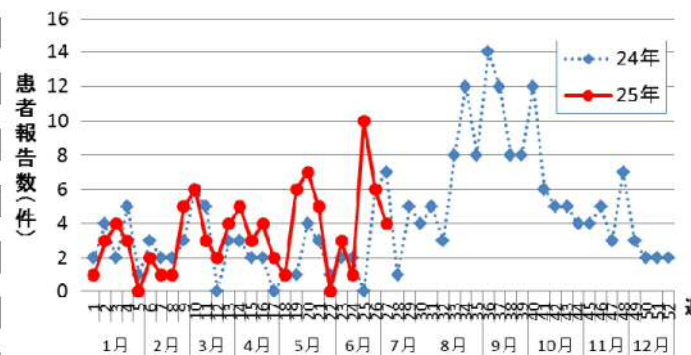
どんな病気？

デング熱は、デングウイルスを保有した蚊に刺されることにより感染する病気です。2～15日（通常2～7日）の潜伏期の後、38～40℃の発熱、頭痛、関節炎、筋肉痛、痒みや痛みのない発疹が見られます。症状は1週間程度で回復しますが、デング出血熱・デングショックとよばれる重症の状態になると死亡することもあります。なお、自己判断による解熱剤等の使用は危険なので、必ず医療機関を受診してください。

川崎市における月別風しん届出数(平成25年7月14日診断分まで集計)



デング熱患者週別発生状況(全国)



蚊に刺されないために

ワクチンや予防薬は存在しません。長袖、長ズボン（なるべく厚めの生地）で肌を露出しないようにすることや、虫除けスプレー、ローションの使用等により蚊から身を守りましょう。蚊取り線香も有効です。